

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0390700029 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人ファミリーサポートおひさま | | |
| 事業所名 | グループホーム ひだまり | | |
| 所在地 | 岩手県久慈市栄町32地割37番地9 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年5月27日 | 評価結果市町村受理日 | 平成26年8月27日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kai.gokensaku.jp/03/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_2013_022_ki_hon=true&Ji_gyosyoCd=0390700029-00&Pr_ofCd=03&Ver_si_onCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 公益財団法人いきいき岩手支援財団 |
| 所在地 | 岩手県盛岡市本町三丁目19番地1号 |
| 訪問調査日 | 平成26年6月24日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <p>地元の食材を使った旬な食材を提供し、みんな(スタッフ・ご利用者様・ご家族)の笑顔でご利用者様が安心して暮らしと元気を手に入れることができる施設</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>利用者、職員共に笑顔が印象的で、室内も明るく、掃除が行き届き、清潔である。建物はさりげない気遣いが施されており(居室引き戸の隙間ガラス、窓辺の棚、開放的な事務室等)、プライバシー保護を考慮した工夫が見られている。職員同士の信頼関係は厚く、指導や相談がしやすい環境が保たれており、新人職員育成に効果を上げている。日々のケアは、丁寧に心をこめて、理念の実践が行われている。地域との交流も計画されており、回数も増えてきている。来訪時、利用者家族の訪問があり、共有スペースで他の利用者も会話に参加するなど、家族的なホームであることが見られた。どの職員も、終始笑顔が絶えなかったことに、好感が持たれた。</p> |
|---|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 初期研修での理念の呈示と共有、全職員の常に目につくよう事務室に理念を掲示してあります。職員はいつでも理念を確認し、意識してケアをするようにミーティングや施設内研修を行っています(平成26年3月17日3施設合同内部研修会等) | 法人の事業開始時に、職員の発案で策定された。「心」を基本に掲げ取り組みをしている。定期的に法人研修会等で共有し、実践に繋げ、成果を上げてきている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域店舗への買い物、なじみの理髪店の利用、お祭り、盆踊り、花火大会観覧等のイベント参加を積極的にすすめています。また地域団体の施設訪問、近隣の中学生との交流(施設訪問・ボランティア等)で出来るだけ交流できるよう心掛けています。平成26年3月3日には家族介護教室「介護のいろは」を開催し地域婦人部の方や家族の方に認知症の理解を深めていただきました | 年毎に地域、特に町内会を中心とした交流も多くなり、訪問ボランティア(歌の会、ギター演奏、オカリナ演奏)や、隣の久慈中学校との交流も盛んに行われている。地域のお祭りや、盆踊りに出かけ、参加をしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議の場で出席された町内会長、民生委員の方々へ入居されているご利用者様の現在の状況、症状をお伝えし認知症の方への理解を深めていただくよう取り組んでおります。また家族介護教室を開催し地域や家族の方に認知症の人の理解を深める活動をしています | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | サービスの状況報告、アンケート結果の開示、報告をし、意見をいただきサービスの向上に役立っている | ホーム独自のアンケートを行い、意見や助言を頂いている。避難訓練について意見が有り、消防署の助言を元に取り組みをしている。委員の区長さんが中心になり、地域の協力体制作りにも尽力してくださっている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議へ参加いただいております、ご利用者様の現在の状況を伝え、適切な支援が受けられるよう、相談しアドバイスをいただいている | 市の担当課が、推進会議の委員であり、来訪時に話をしている。制度改正、生保対応なども会議で見えた時に相談している。包括センター職員へは研修時の講師をお願いしている。グループホーム協会の会合に参加した際にも指導を受けている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束排除、人権尊重の施設内部研修会を行い職員全員が身体拘束をしないケアを業務に結び付けています、また玄関の施錠は夜間のみ行っています | 昨年の評価終了後から、ホームとして取り組みを始め、事業所内研修をしている。色々な形の拘束があることを職員間で共有し、日々のケアに活かす取り組みをしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 理念に基づいたケアにより虐待はあり得ないが虐待防止に努めるよう不定期に朝のミーティング時施設マニュアルの読み合わせをしています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護研修会への参加 ご利用者様の成年後見人との密な連絡、報告、相談を行っています | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時、サービス開始時、十分な説明を行い納得が得られるよう努めています、いつでもご相談くださるようご家族、ご利用者様に伝えていますが、今年度消費税引き上げに伴い介護費の改定後の契約を理解を得て行いました | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会やご家族参加のお花見会、忘年会を開催しご意見が聞けるよう心掛けています | 家族会は行事に併せて、年2回(花見、忘年会)行っているが、特に意見等は出ていない。ケアプラン見直し時にも、要望は特に出していない。 | 家族が来訪したり、電話連絡時にも、意見を聞いてはいるが、特に出されてはいない。家族が言いにくいことを汲み取る為の手立てとして、投書箱を設置したりなど、運営に利用者本人や家族の意見(声)が活かされていく仕組み作りの工夫に期待したい。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 半年に一度(または不定期にも)施設長より職員一人一人の面接を行っています 各施設リーダーが職員の意見や要望を受け(すいあげ)定期的(毎月)にリーダー会議を開き管理者へつなげ改善を図っている | 法人としても職員の面接をして意見の聞き取りをしているほか、常時意見を聞く体制は出来ている。掃除機、ドライヤー等の器物故障、破損には即対応している。職員からは勤務シフトについて、研修希望等の要望があり、法人が経費負担をし、職員育成を行っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 給与水準は入社時、一律ではありませんが、経歴、勤務状況、資格取得により賃金を引き上げています、各自の能力に合わせた研修時の受講費用、旅費等補助しています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 個々の能力に合わせた外部研修会への参加、事例を基にした施設内研修にてスキルアップできるよう研修会参加の機会を設けています また働きながら介護職員初任者研修を受講でき(受講費事業所負担)日々のケアにつながるようすすめています | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協会からの勉強会や交換研修にて交流する機会を作っています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービス導入前(面談や利用申し込み時)よりご本人様の声、お話を耳を傾け要望があった場合にはその都度対応しています | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用申し込み時、契約前の面談やアセスメント時なるべく多くのことをお話いただき情報を得るため時間をかけこれからのケアにつながるよう心掛けています | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 必要な支援を多機能に対応していきたいと考えています(通院介助や買い物代行、福祉用具レンタルなど) | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 生活全般にわたる家事を一緒に行えるよう声掛けと雰囲気づくりにつとめています、ご利用者様との信頼関係を築けるよう挨拶、言葉がけ等に注意をし些細なことでも意見を聞き自分の身に置き換えた対応をしています | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族との電話での通話の自由、ご家族様への(ご利用者様からの)お手紙を送られたりご利用者様の作成した千羽鶴を送られたりするときのお手伝いをしています、また不穏時状況をお伝えし、ご家族様のお声や面会により家族とのつながりがあるという安心した生活を送ってもらえるよう協力いただいています | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | お一人お一人の生活歴に合わせた支援を心がけています、お参りしていた神社や働いていた場所へのお出かけ、面会は自由となっております、職員が会話を橋渡しをしたりしやすい雰囲気づくりに心がけています | 入居前からの友人、知人が2、3人で来訪して、おしゃべりをしたり、楽しく過ごされていくことがある。お客様が来たときには、お茶や、お菓子で、おもてなしをしている。帰りには「また、いらしてくださいね」「喜んでいましたよ」と声を掛けて、再訪を促している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員がご利用者様の人となりの理解を深め、軽作業やレクリエーションでお互いの距離を縮められるよう働きかけています、職員が会話の橋渡しをしたりご利用者様同士が良い関係でいられるように努めています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス終了となられたご利用者様のご家族様が来所されたり、ご自宅へ訪問させていただきお話を傾聴しています | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご利用者様の様子観察し希望や意向の把握に努めています、心身ともに無理の無いように対応しています | 入居者の介護度が軽いこともあり、コミュニケーションが図られている。対話を重視しながら確認をしている。 お手伝い(掃除、下膳)に対しては、心からの感謝を言葉で伝えている。把握が困難な時には、会話をしながら、表情等から読み取りをしている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 毎日の談話やご家族様からのお話から情報収集し、その方を深く知るよう心掛けています、また過去のサービス計画書等に目を通し経過を把握するようにしています | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 常にご利用者様に興味をもち様子観察その場面にあった声掛けをしています、ご本人様の意思を確認し無理のないよう意思決定の出来る場面を作っています また日々のケアの中での共通認識で一人お一人の出来ることを把握しています(ケース記録) | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画書を作成するうえで現在の心身の状況や変化見えるような現状に即した介護計画書を作成しています | 担当制はなく、日々の「ケース記録」と本人の今の状況を職員で検討して作成している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 共通のケアをするために気づきや変化を常に記録しケース記録、申し送りノート等で情報を共有しミーティングで事例検討し、実践につなげています | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 通院介助や買い物代行をご利用者様、ご家族様の体調や都合に合わせて柔軟に対応しています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | なじみの理美容院への通いや、かかりつけ医への通院介助、なじみの店での買い物介助等自宅で暮らしていた時と変わらない気持ちで暮らしていられるよう働きかけています | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 健康状態や心身の状態を記録しかかりつけ医や初めて診察を受ける医師や看護師に情報を提供し適切な医療を受けられるように努めています | サービス開始に伴って、かかりつけ医の変更が2名あった。遠方の家族等通院介助が難しい4名の利用者は、ホームで対応している。通院にはバイタル表や利用者の情報を提供して、適切な診療が受けられるように、口頭又は書面で伝えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ご利用者様の日々の状態を看護師と共有し適切な医療や看護が受けられるようご家族様やかかりつけ医に報告しています | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際、認知症のため訴えが届きにくくその方の具合が悪い時のサインや不安の緩和方法をご家族様に伝え、病院でも安心して過ごされるよう情報交換に努めています | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期を迎えるご利用者様のご家族と何度も話し合いを重ね事業所で出来ることを十分に説明したうえでケアを考え方針を共有しました | サービス開始時に、ホームとしての出来る範囲を説明している。状況の変化に伴って、再度、家族と話し合いを重ねている。看取りの直前までのケアを経験して家族から感謝をされている。方針等は、まだ作成されていないが、職員の研修を重ねて、利用者本人・家族が安心できる取り組みをしていきたい。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 心肺蘇生の伝達研修会を行っています | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練を実施し、消防署員の指導の下避難場所や道具の使い方を身に付けました、また地域の方の協力も得て行いました | 年4回の訓練のうち、2回は、近くの久慈川が危険水位まで増水したことがある為、水害避難訓練をしている。関係者参加の訓練と、法人だけの自主訓練をしている。地域の協力者は、推進会議の委員さんであり、地域住民の協力までには至っていない。中学校が避難場所になっているが、水害時の避難所は歩いて8分程度かかるほか、山手のコミュニティで少し遠いところとなっている。 | 水害訓練も行い、回数も多く取り組んでいる。法人全体での取り組みもあり、意識の高いことが窺える。地域の協力は、住民全体への広がりがまだない状況である。備蓄に関しても、ホーム独自の物が少なく、今後の課題としている。夜間訓練、地域の住民協力を検討することを期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 施設理念に基づいた感謝と尊敬の心で声掛けや支援をしています、職員が入室する際は許可を得て入室し、入浴や排せつ介助では1対1で羞恥心やプライバシーに配慮しながら支援しています | 対話を大事にし、人生の先輩として、敬意を込めて、日々ケアに取り組んでいる。入浴、排泄時の対応は、特にプライバシーに配慮をして、本人の気持ちを大切にしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々のコミュニケーションや些細な行動からその方が望んでいることがくみ取れるよう気づきと声掛けを大切にしています希望通りとなるように会話を多くもっています | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 起床、食事、水分補給、トイレ、入浴時は声掛けさせていただきますが、就寝や、日中の散歩はその方に合わせています、職員側の決まりがほとんどない為都合を優先することは(危険行為以外)ほとんどありません | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床時静養の声掛けをしています、髭剃りの介助(剃り残し等)衣類の交換のお手伝いをしています、外出時の衣類選びもご本人様と相談しながらその人らしい服装で出かけられるよう支援しています | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 旬な地元の食材を調理する前に食材に見て触れていただいたり、また庭の野菜を下ごしらえして下さいました、食器の片づけを手伝って下さる方やおしぼりの準備をして下さる方、職員とご利用者様が調理場に立ち一緒に作業し、食事は同じものをいただきます | 「グループホームひだまり」では、特に地元の新鮮な食材を使って、利用者の希望を取り入れて前日に献立を作成している。毎食毎にカロリー計算がされ、野菜を多く使った献立である。以前ほどではないが、下膳等のお手伝いがある。大半が普通食で、間に職員も座って同じ食事を会話をしながら食べている。利用者の誕生日には、お赤飯を炊いて皆でお祝いをしている。食後の服薬は一人ずつ確実にされていた。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 咀嚼力、嚥下、体調や病状に合わせた味付けや食事形態で提供していますが、盛り付けに差が出ないように工夫しています 水分補給が十分なされるよう職員が摂取量を共有し把握しています 夜間もボトルに水を入れ枕元に置いておられいつでも摂取できるようにされている方もいます | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| | | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後の口腔ケアは風邪やその他の疾患の予防に効果があるため、口腔衛生の必要性をお伝えし口腔ケアしています 介助が必要な方はお手伝いしています | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄パターンを記録し検討しています | 概ね排泄は、自立であるが、1名については確認をしている。布パンツに、パットを使用している。ポータブルトイレ利用者はいない。夜間のパット交換は、声を掛けてから行っている。立ち上がり時のふらつき防止に感知センサーを使用している方もいる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食物繊維の多い食材や消化の良い食事提供、朝起きての水分補給、運動等で個々の合わせた取り組みをしています | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一番風呂が好きな方や早い時間に入れない方等個々に合わせたお誘いをしています、また季節の菖蒲湯やゆず湯、大晦日には新しい年をさっぱりと迎えてもらえるようにしている | 週3回の入浴を目安に、9:30から全員を支援している。1:1の入浴であるが、更衣にも職員がつくため2人で、日勤者があたっている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | シーツ交換や布団干し等で清潔な気持ちの良い環境で休まれるよう支援しています 眠れない方にはお一人お一人の状況に応じた支援をしています | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ご利用者様個々の薬のケースにお薬情報を貼り常に確認をしている、また体調の変化を看護師と相談の上主治医に報告し薬の管理を行っています | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 軽作業を行っていただいています、自発的に作業を行ってくださりそれが役割となっております天候の良い日の散歩や草取り等、外での活動を通して気分転換も図られていると思います | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的な散歩や季節のドライブ(初日の出、お花見、紅葉等)に出かけています 選挙の投票への付添もしています 帰宅したい時はご家族と相談しその時の状況に応じて支援しています | 天候の良い日は20分程の散歩をしている。利用者の気分により、2組に分けて対応することもある。天候の悪い日は、レクリエーションで対応したり、15時からのテレビ体操をしている。本人・家族の要望で、ドライブを楽しむこともある。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | いつでも買い物ができるよう、お金が使えるようお小遣いをお預かりしています、またそのことをご本人へも伝えていきます 付き添い一緒に買い物をしています | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望時には電話の使用をしていただいています、ご家族様への贈り物やお手紙を送る際もお手伝いしております(お孫さんへのクリスマスカードや娘さんへの千羽鶴プレゼント、お写真もお送りしています) | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節に合った飾りやご利用者様が作った作品を展示しています 毎日の清掃に気を配り清潔の保持に努めています、また毎日温度、湿度を計測し加湿器空気清浄器を使用し快適に過ごされるよう努めています | 古民家を思わせる太い梁が安らぎを感じさせてくれる。上履きを履かない生活であり、家庭そのものの感じである。掃除が行き届き、利用者の共同作品(ねぶたの貼り絵)などが貼付されてあるが、壁面もすっきりとしている。天窓からの採光で十分な明るさが確保できている。トイレ、各居室への表札は特に付けていない。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個別のお部屋で一人になりリラックスされたり、気の合うお仲間が訪ねてこられお部屋でお話されることもあります お一人お一人が好きな場所できつろげるよう配慮しています | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室にはご利用者様の馴染みのものをお持ちいただいたり、ご自分の作品を飾っていただいたりしていますまたご家族様と相談の上ベッドから布団に替えたりしています | 使い慣れた物の持込を呼びかけているが、置物、人形、兄妹から頂いたお土産、手作りのセーター、写真を多くはないが持ってきている方もいる。日中は、共有スペースで過ごされている方が多く、居室にこもる方はいない。居室も清掃が行き届き、清潔である。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 共用空間では手すりがあるため安全な歩行ができる環境となっておりますが、ご利用者様の身体の状況で付添いや見守りが必要な方もおられます トイレと洗面所は車いす対応となっております 自立的な可動を可能としています 施設内事務室の壁のくりぬき等でオープンな空間での見守り援助をしています | | |